

冬の雨や雪

冬は年間でもっとも雨の少ない時期になります。日本の東の海上に低気圧が、西の大陸に高気圧がある「西高東低の冬型」の気圧配置が続き、太平洋側に位置する日立市では、晴れて乾燥した日が多くなるためです。

冬に雨や雪が降るのは、冬型が崩れて、低気圧が進む場合ですが、冬型の気圧配置でも雨や雪が降るときがあります。天気が良い日に低い雲が多くなり、ちらちらと雪が降ってくることを経験した方も多いかと思います。いわゆる「しぐれ」です。

上層に強い寒気が入ってくると、日本海側の雨雲が山を越えて太平洋側に流れてくる場合や、太平洋側で雨雲が発生する場合があります。これらの雨雲が進み、青空が広がっていても急に雲が多くなり、ちらちらと雨や雪を降らせます。ほとんどの場合はすぐにやみませんが、上層に気圧の谷と強い寒気が進んできた場合は、半日程度、雪を降らせて積雪する場合があります。

今年の冬の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、気温、降水量とも平年並みの見込みです。

平年の値（日立市役所）

項目	12月	1月	2月
平均気温（℃）	7.3	4.6	4.6
降水量（mm）	43.3	49.6	56.3
日照時間（時間）	184.7	191.3	172.1
平均湿度（%）	59	55	57

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

【12月から2月の1953年からの極値の記録】

○日最大風速

18.1m/s（2007年1月7日）

○日最低気温

マイナス7.5℃（1955年2月12日）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。